

原子力機構 原子力科学研究所 タンデム加速器建家における 焦げ跡の確認に係る立入調査結果について

令和6年5月22日
防災・危機管理部原子力安全対策課

令和6年5月22日に原子力科学研究所において火災が発生したことについて、県は、同日、東海村とともに、下記のとおり立入調査を実施しました。

1 実施日時

令和6年5月22日（水） 15時30分～16時30分

2 実施者

県、東海村

3 立入調査結果

以下のことについて、聞き取り、関係書類及び現場調査で確認した。また、火災の発生した計装盤を確認した。

○ 環境影響

- ・ 火災発生前後におけるモニタリングポスト等の値に異常がなく、周辺環境への影響は認められないこと。

○ 施設等への影響

- ・ 焦げ跡を発見した計装盤は、管理区域内に設置されたものであるが、原子力施設への影響はない。
- ・ 本事象は、計装盤内における焦げ跡のみであり、周辺の設備、建屋への影響は確認されていない。

○ 現在の措置状況

- ・ 焦げ跡が発見された計装盤の電源系統の上流側において、通電を遮断する措置が取られていること。

4 要請事項

立入調査後、以下のとおり要請を行った。

- ・ 早急に原因究明や再発防止対策の検討を進め、進捗について適宜報告すること。

5 今後の予定

原因調査や再発防止対策について事業者から引き続き報告を受け、必要に応じて立入調査等に対応状況を確認していく。